

北アルプス・夏山山行

台風12号のため目的の水晶岳は登頂できなかったが、槍穂の眺望を楽しむ

2018年7月27日～29日

＜参加メンバー＞ 4人(男性2人、女性2人)

＜天候＞ 27日(晴れ)、28日(雨)、29日(雨のち晴れ)

＜コースタイム＞

- 7/26 JR宝塚駅 23:00 集合・出発
7/27 5:30 新保高温泉→7:20 わさび平山荘 →11:30 鏡平 →15:00 双六小屋(泊)
7/28 4:00 起床→5:00 双六小屋(発)→7:10 三俣山荘 →15:00 三俣山荘(発) →鷲羽岳・黒部源流二つのコースに分かれる →15:40 鷲羽岳→16:20 三俣山荘(泊)
7/29 4:00 起床 →5:00 三俣山荘(発) →7:00 双六小屋→8:10 弓折岳分岐 →8:50 鏡平山荘 →11:20 わさび平 →13:00 平湯の郷にて入浴・打ち上げ

＜山行の概要＞

1日目

台風の影響を心配しながらの山行のスタートとなったが台風がそれているとの情報もあり、このまま影響がないようにと祈りながらニュー穂高から歩き始める。1日目は風も無くまさに快晴。わさび平から小池新道に入り、雨よりはマシだが日差しが強く体力が奪われていく。登りながら振り返ると焼岳・穂高の山々が見え景色は最高でした。小池新道を3時間ほど進み今回の山行の楽しみでもある、鏡池へ。非常に天気がよかったため槍ヶ岳・穂高の景色は圧倒されました。鏡平山荘にてみんなでかき氷を食べ体力回復。途中メンバーの一人が体調を崩したため体調不良のメンバーは鏡平山荘泊となった。残るメンバー3名で本日の宿である双六小屋を目指して登る。双六小屋は非常に綺麗で宿泊者も多く鷲羽岳を見ながら双六小屋の前にてビールで乾杯。

2日目

朝起きると台風はそれているものの雨風は強く山行内容の変更を余儀なくされる。とりあえず三俣山荘を目指して歩いていく。三俣山荘に着くとさらに雨風は強くなりスケジュールを変更して三俣山荘に停滞する。登山者が次々やってきた。私たちも天候の回復を待ちながら三俣山荘で待機した。14:00頃天気が少し回復したので往復1時間半ほどで行ける鷲羽岳・黒部源流と2コースに分かれ登ることに。鷲羽岳はあいにく眺望はなかったが登っている途中、10匹近くのライチョウと出会った。山荘に戻り、三俣山荘名物「ジビエシチュー」をいただいた。おいしかった！

3日目

風はやんでいたがのおごりで焼肉で打ち上げすることに。疲れた体に美味しい焼肉が本当に最高でした♪ 今回の山行で一番うれしかった出来事かもしれません。笑。

台風の影響で山行内容も変更になり、水晶岳には行けませんが「終わりよければすべてよし！」楽しい山行でした。 則竹さん、ごちそう様でした～♪



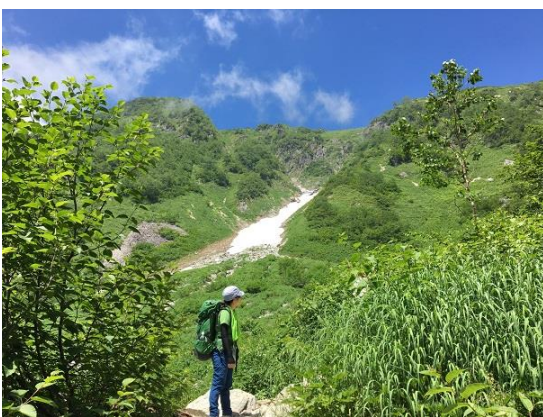
①わさび平小屋 ここから本格的な登山の始まり



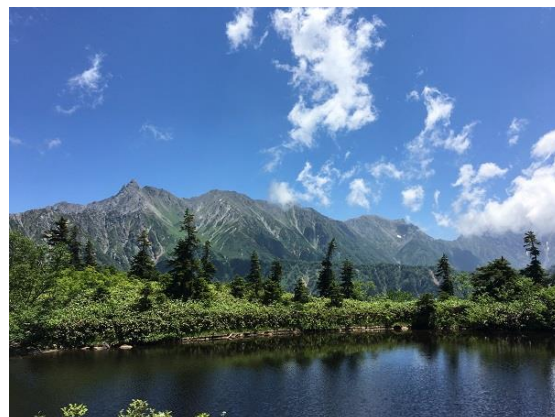
②小池新道を進みます



③雪解け水の流れる水場で一服



④初日はいい天気でした



⑤鏡池の絶景



⑥鏡平山荘でかき氷



⑦かき氷で疲れも吹っ飛ぶ



⑧標高が上がってくるとところどころ雪渓が残っていました



⑨お花畑〜♪



⑩鷲羽岳と双六小屋



⑪今日の宿 双六小屋



⑫双六小屋の晩御飯 天ぷら定食でした。美味しい♪



⑬日目の朝 台風の影響で天気が悪い



⑭台風の影響で天気悪く 三俣山荘で天候の回復を待ちます



⑮待機中 ジビエ丼をいただきました



⑯鷲羽岳へ向かう途中 ライチョウに出会いました



⑰あいにく眺望はありませんが鷲羽岳登頂！



⑱今日の食事は三俣山荘名物「ジビエシチュー」です



⑲最終日の下山中に天気回復 笠ヶ岳が見えてきました



⑳わさび平へ帰ってきました！ラムネをグビッと。